

製品名: MAP-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13626**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	280kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP2
別名	MAP2; Microtubule-associated protein 2; MAP-2
遺伝子 ID	4133.0
SwissProt ID	P11137
免疫原	抗血清はヒト MAP-2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 14-63

背景

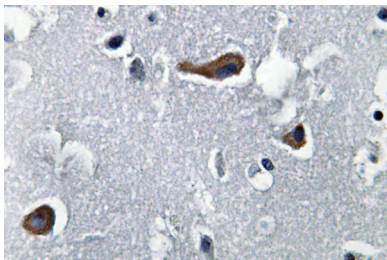
この遺伝子は、微小管関連タンパク質ファミリーに属するタンパク質をコードします。このファミリーのタンパク質は、神経発生の必須段階である微小管の組み立てに関与していると考えられています。ラットとマウスにおける類似遺伝子産物は、神経特異的な細

胞骨格タンパク質であり、樹状突起に多く含まれていることから、神経発生における樹状突起の形状決定と安定化に関与していることが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする、選択的スプライシングを受けた多数のバリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2010年1月]、代替産物：追加のアイソフォームが存在するようです、機能：MAP2の正確な機能は不明ですが、MAPは微小管を脱重合に対して安定化させる可能性があります。また、微小管を硬化させる作用もあるようです。、PTM：MAP2A/cはリン酸化されます。DNA損傷時にリン酸化される(おそらくATMまたはATRによる)。、類似性：3つのTau/MAP繰り返しが含まれます。、類似性：4つのTau/MAP繰り返しが含まれます。、

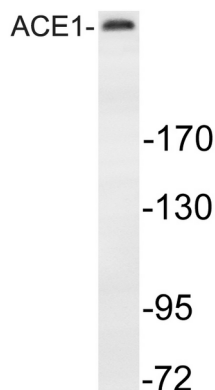
研究分野

神経科学

画像データ



パラフィン包埋ヒト脳組織におけるMAP-2抗体の免疫組織化学分析。



MAP-2抗体を使用したマウス脳溶解液のウエスタンブロット分析。